

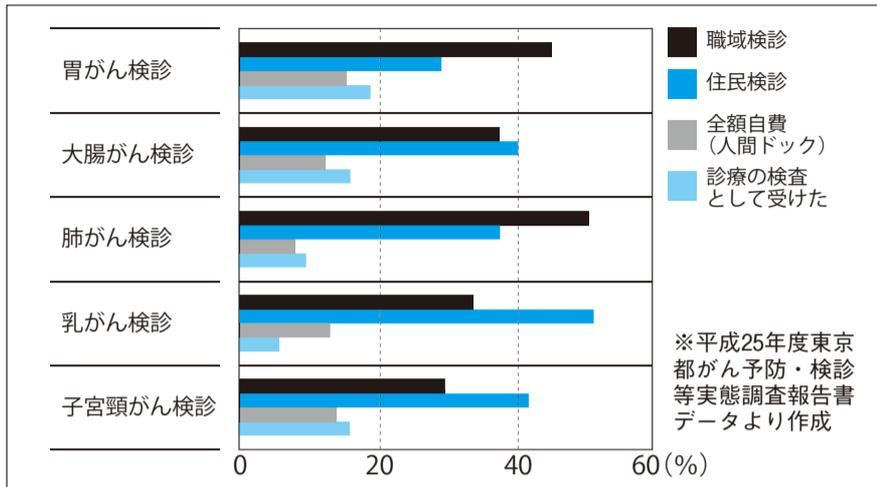
がん検診受診率アップ作戦

未受診理由に沿った 対応で、効果に期待

日本人の死因第1位で、国民病といわれるようになったがん。しかし初期の段階で発見・治療すれば、高い確率で治癒するともいわれる。そしてがん死亡率を下げるのに大切なのが、早期発見のためのがん検診。

だが、日本のがん検診受診率は、欧米諸国の受診率に比べ、著しく低いとされる。その原因と対策を、神奈川県立がんセンター名誉総長で、当協会が予防医療部長・小林理医師が考察した。

がんによる死亡者数を減少させるためには、がん検診を受診し、がんを早期に見つけることが極めて重要である。これを国民の9割は認識しているものの、



がん検診を受診するの
は3割程度しかいな
い。がん検診受診者の
受診理由は、「検診に
よる早期発見が大事だ
から」よりも「健保や
事業所のすすめ」の方
が多くなっている。

理由1 ●関心がない
一新たながん啓発活動
○受診勧奨
神奈川県はがん検診

理由2 ●忙しいから
働く世代・若い世代の
検診
○職業検診
受診率の低い、働く

理由3 ●費用がかかる
受診者への金銭的イン
センティブ
市町村では国保加入

理由4 ●費用がかかる
受診者への金銭的イン
センティブ
市町村では国保加入

理由5 ●費用がかかる
受診者への金銭的イン
センティブ
市町村では国保加入

理由6 ●費用がかかる
受診者への金銭的イン
センティブ
市町村では国保加入

受診率の向上を図るた
め、民間企業と連携し
、茅ヶ崎市において受診
勧奨を行うモデル事業
を実施した。方法は、
乳がん無料クーポン券
が送付された茅ヶ崎市
在住の約6,000人
に対し、受診勧奨の
リーフレットと意識調
査票を個別に送付し
た。その結果、受診勧
奨を行わなかった前年
度と比較して受診者は
2倍に増加した。受診
勧奨の効果は年代別に
みると、若年層への効
果が大きかった。

スリランカにおける
子どもへの保健教育が
成人の喫煙率の減少効
果を認めた事例が報告
されており、子どもに
対するがんの教育こ
そ、がんの予防には重
要ではないかとの認識
が広まっている。

開業医というのは孤独な仕事だと思
う。診療で患者さんといろいろ話はず
るが、そこではむろん医療のことが多
くなってしまう。地域の開業医のつま
りも意外に希薄で、医師会の集まり
でもない限り、夜、一緒に食事をする
こともない。以前、近くの開業医同士
で集まって食事の会をしていたが、次
第に話題が医療のことばかりになっ
て、やめてしまった。私の場合は、作
家業もあるもので、いろんな世界の人
に会うチャンスがある。その点恵まれて
いると思う。

私が大病院にいたとき、神経内科
の研究班の長だったこともあり、その
仲間と年に数回食事をしていて、ほと
んどが開業医となつて、地域の医療で
がんばっている。そんな懐かしい仲間
と会って、話をしていると、次第に自
分の子どもことになり、どこの医学

力が見られる。
○利便性アップ/ママ
友健診・土曜日検診
女性のがん種別罹患

受診者は健康診断に
加え、乳がん、子宮が
ん検診を受診し、「受
診の機会がなかったの
で、今回受診できてよ
かった」との評価を得
た。今後も定期的に開
催する予定である。さ
らに、土曜日検診を年
に4〜5回開催する準
備をしている。

受診率増加の効果
は、熊谷市で3ポイン
ト、高鍋町で7ポイン
ト程度認められた。総社市
では世帯単位で1万円
をキャッシュバックす
る事業を平成25年に開
始し、今年にはがん検診
を受診した市民にプレ
ゼントが当たる制度を
始めた。国保加入者の
特定健診受診率の増加
による相乗効果に期待
したい。

開業医の仲間

米山 公啓 (医師)

部に入ったとか、学費がいくらだとか、
そんな話はかりになつてしまった。
時々、開業医の集まりで講演をする
こともあるが、同窓生の参加者から、
「私たちは医療のことしか知らないの
で、もっと世間が広がるようなこと
はないですかね」と質問を受けたこと
があった。有名な医学部教授が「寝る
前に小説を読む」と言つたというが、
まさにそれは医者というものが次第に
自分たちだけの世界になり、世間が見
えなくなつてしまつていふことが言
えなかつたのだらう。

とくに開業医というのは、患者さん
を理解するために、広い視野が必要で
ある。しかし、世間を見るチャンスが
あまりに少ない。あるいはその努力が
足りないように思う。「医者以外の友
人を持つて」私にはそれがアドバイス
ができない。



3月27日に当協会を会場に行
われた「ママ友健診」。子ど
もを連れて、気兼ねなく健診
が受けられると、参加者に好
評であった。

序章

※1 参考資料/東京都
保健福祉局刊「平成25
年度東京都がん予防
検診等実態調査報告書